

未来へとつなぐ

地域と学校、家庭が連携し協力して日光市の子どもを育てよう!

学校支援ボランティア活動推進事業の紹介

くわしくは 生涯学習課 生涯学習係 ☎21-5182

生まれた地域に誇りをもって生きる子どもたちを育てるためには、地域と学校、家庭が連携し協力することが大切です。自分の経験や技能を生かしながら、地域の子どもたちを育てる活動に、ぜひご参加ください。

学校支援ボランティア活動推進事業

「地域と学校、家庭が連携し協力しながら、地域で子どもを育てる体制を整えること」「地域の住民の学習成果を生かす場を広げるとともに、地域教育力の向上と地域の活性化を目指すこと」を目的として、次の事業を行っています。

- 各学校の要望に応じて、ボランティアを紹介する「地域コーディネーター」の配置。
- 地域と学校の連携について協議する地域教育協議会の設置支援。
- 学校支援ボランティアを行う方の「人材バンク」の整備。

これらの他にも各種研修会や交流会を実施しています。

現在、市内の小・中学校では、授業の支援と合わせて、学校の樹木の剪定や農園整備などの環境整備、校外学習時の引率支援、休み時間の見守りなどの安全管理など、多くの活動を行っています。

学校教育支援ボランティア感謝状表彰

県教育委員会から、県内で活動する学校支援ボランティアの方々へ感謝状が贈呈されました。表彰された市内で活動する方々を紹介します。

星美智子さん(大桑在住)
学校での定期的な本の読み聞かせの実施や校舎内を生け花で飾る活動の他、地域のコーディネーターとして学校からの依頼に合った、地域の人材を紹介しています。

星野初代さん(清滝在住)
市内にある、さまざまな史跡や名所などの案内と説明を、児童・生徒に行い、児童・生徒自身が市内の史跡や名所などを案内できるような指導しています。

阿久津林一さん(三依在住)
地域に伝わる獅子舞やお囃子の篠笛を児童・教師に指導する他、運動会や学習発表会で獅子舞を舞う際の演奏の手伝いをしています。

学校での読み聞かせ

史跡について説明

三依に伝わる獅子舞



貸 森友在住 前野 賢さん

貸 空き家バンクは市の広報紙で知りました。物件は昭和52年に建てた一戸建てで、市街地に近い好立地です。3年前から空き家なのでもったいないと感じており、必要とする方に使っていただければ幸いです。

空き家バンクへの登録は、知人にも勧めています。まだ住める家でも、壊すにはお金が掛かります。どんどん利活用していければ良いと思います。

日 光に観光客が気軽に泊まれるゲストハウスをオープンするため、条件に合った古民家を探しています。そんな折、空き家バンクの情報を市役所の友人から聞き、早速登録しました。

空き家には、居住目的での利用以外にも、喫茶店や旅館など、店舗としての利用方法もあります。この制度が広まり、多くの方が利用してくれれば良いと思います。



借 日光市在住 井上 明美さん



緊 日光市在住 佐藤 正人 課長補佐

市 は、平成26年3月に空き家の有効利用や移住・定住の促進、地域活性化のために空き家バンクをスタートさせ、多くの方のご協力のもと、制度の推進を図っています。

日光市に「住んでみたい」という移住希望者や、「これからも住み続けたい」という市民の方に、できるだけ多くの物件を情報提供したいと考えています。思い出深い家を売ったり、貸したりするのは抵抗があるかもしれませんが、活用可能な空き家がありましたら、空き家バンクへの登録をお願いします。

空家バンクについては
地域振興課 ☎(21)5147

危険空き家については
生活安全課 ☎(21)5112

この特集については
秘書広報課 ☎(21)5135

新しい空き家の「カタチ」

おわりに

今後ますます増加していくであろう空き家。問題は、依然多岐に渡ります。また、新たな問題も出てくるかもしれません。その多くはすぐには解決できるものではないでしょう。

しかし、空き家を必ずしもネガティブなものと思える必要はありません。移住して来る人たちにとっての希望に満ちた新居。新しくお店を始める人たちにとっての念願の自分の店。同じ趣味や仕事を持った仲間たちとの、わくわくするような共同作業場。

空き家は、さまざまな形になって再生することがあります。そしてその多くはともポジティブなものでしょう。想像してみてください。周りの空き家の中に、多くの笑顔があふれている情景を。

空き家問題はまだまだ始まったばかりです。私たちと一緒に空き家の明るい未来を、探していきませんか。